

くすっ子



鴻巣市立屈巢小学校
学校だより
令和3年6月8日
No. 6

《花いっぱい 夢いっぱい 笑顔いっぱい 屈巢小》
花をさかせる学校・夢をはぐくむ学校・笑顔あふれる学校

笑顔があふれた運動会

校長 諏訪 けん

前日の夜遅くまで続いた雨・・・。

朝の吸水作業で、校庭は回復するのだろうか。運動会当日の朝は、半信半疑で学校に向かいました。学校に到着すると、職員・保護者・地域の方数名がスポンジや雑巾を使って吸水作業が始まっており、**なんと**してでも、**今日、運動会を実施するぞ!**という無言の熱意が伝わってきました。その後、



そくそくと大人が集まり、多い時には、60名ぐらいで作業をしていただきました。感謝の念に堪えません。ありがとうございました。そのおかげで、幸いにも、プログラムの変更をせずに、練習をしてきた内容をすべてお見せすることができ、子どもたちもやり切った気持ちで、運動会を終えることができました。

開会式で、6年生の代表児童が、「コロナ禍で、運動会ができることに感謝しながら・・・」と話しました。各ご家庭におかれましては、今回運動会を実施するにあたり、様々な思いを寄せていただいていたと思います。**子どもたちのためにという共通の思い**があったからこそ、学校として「**当たり前**の光景」が、実現できたと思うと、運動会後の今でも込み上げてくるものがあります。

さらには、屈巢の子どもたちの素敵なおところを見つけることができたことが、うれしい限りです。いくつか紹介いたします。①徒競走やリレーで、走り終えたあと悔しくて涙している場面。きっと、もっと上位を狙っていたのでしょう。でも、そのあと、気持ちを切り替えて次の競技や演技に集中していました。②低学年・中学年・高学年それぞれの表現運動（ダンスや組体操）では、きりっとした表情や踊ることに没頭している眼差しがたくさんありました。練習とはまた違う、いきいきとした表情・姿は、いつまでも心に残ります。③4・5・6年生の鼓笛隊。普段校舎内で見せている姿とは、まったく違う頼もしい姿でした。3年生以下の子は、「自分もあなりたい」と夢をいただいたことと思います。④下学年の代表リレーの中で、順位が思うように上がらないチームから、「最後まで、力をだしきれ～。運動会のスローガンだぞ～」という掛け声が上がっていました。心が澄んでいるからこそ、出てくる言葉です。そして、何より私が、うれしかったのは、競技や演技が終わったあとに、子ども達の**笑顔があふれていた**ことです。自然と出てくる笑顔。真剣に取り組んでいたからこそ、出てくるのでしょう。それ見て、**私たち大人も笑顔**になることができました。まさに、**笑顔があふれ、笑顔いっぱいの屈巢小の日**となりました。

心残りは、もっとたくさんの大きな拍手を子ども達に送ってあげたかった点です。今、その時の心の動き・それと連動する動作。そのことを大事にして、子ども達に伝えたいと思っております。

運動会が終わり、1学期もあと6週間となりました。今後、さらに蒸し暑くなってまいります。運動会で見せた子どもたちの力を生かして、さらなる成長【**ふたつのじりつ（自立・自律）と連帯**】を促してまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。

・・

※6月16日(水)のプール開き以降、水泳学習を開始いたします。安全な水泳学習ができるよう、毎日の健康観察を念入りにお願いたします。なお、水着等をご準備いただくにあたり、保護者の皆様に、ご迷惑やご負担をおかけしておりますこと、申し訳ございません。子どもたちの泳法の習得と泳力向上を鑑みて、水泳学習に適した水着をご準備いただきたく、改めて、ご協力をお願いいたします。どうぞ、よろしくお願いたします。